

佐渡市教育長賞

一人一人の手で

佐渡市立新穂中学校 3年 山口 七聖

私たちが生活をする上で、誰もが関わったことがある、関わっているのが「税金」です。税金とは、国民が国に貢献するために支払うお金のことで、いろいろな種類があります。私たち中学生でも関わったことがあるのが消費税です。その他にも、所得税や住民税、たばこ税など様々です。

そんな税金について考えると、あまり良い思いをしないという人も少なくないはずですが、税金は社会にとって非常に重要な役割を果たしています。税金を支払うことによって、国のインフラ整備や社会保障、医療・教育の充実などたくさんの事業を支えていることを、みなさんは知っていますか？

例えば、病院に行った時。お金を払わずに、もしくは少額で医療を受けられたという経験、みなさんもしたことがあると思います。それも実は、税金のおかげでもあるのです。日本には子供が一定年齢になるまでの間は無償、または少額負担で医療を受けられる制度があります。しかしこの制度、当たり前のことではないのです。アメリカなどでは、原則医療費は全額負担が普通なのです。日本では体調が悪くなったら「とりあえず病院に行けばいい。」という風に多くの人がなると思います。しかしそれはとても恵まれたことで、アメリカでは全額負担でお金がかかるため病院に行けない、行かないという人が多くなっているそうです。お金で悩まずに、まずは病院へ行ける。そんな日本の制度に私はとても驚きました。金銭的に苦しい、体が弱い、重い病気がある。そんな人たちにとっても、本当にありがたいことだなと感じました。税金を使った制度に助けられた人は数えきれないと思います。

このほかにも、税金は私たち国民のための様々な事業に使われています。税金を納めることは私たちが住む社会において、当たり前のことです。そのうえで、政府や自治体が税金を適切に使い、国民の豊かな生活を守ることが必要だと強く感じました。

私たち自身も、ただ「納める」だけでなく、自分が納めた税金が「どのように使われているのか」について理解を深めることが納税者としての大切なもう一つの責任だと私は思います。適切に納税することで社会に貢献し、国と一緒に希望ある社会をつくっていきたいです。